

TOTO

サーモユニット

TH576型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告



必ず実行

サーモユニットを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を閉めてから行う

湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

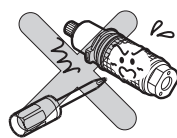


注意



分解禁止

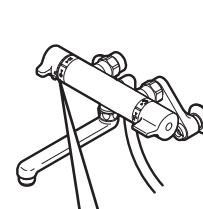
サーモユニットは絶対に分解しない
特殊組み立てをしていますので破損します。



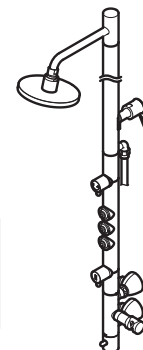
2 対象商品

お使いの商品により、取付方法が異なりますので、お取り付けの前にもう一度、水栓の品番をお確かめください。

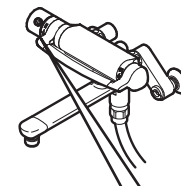
サーモスタート 品番	対象商品			参照項目	同梱部品 サーモユニット
	シリーズ	タイプ	商品番号		
TH576	メタルジョイ	ノーマルタイプ	TMJ40C3型 他	4	
	ニューウェーブ (コンテンボラリ)	シャワーバー	TMC95型	5	
	—	アーチハンドル タイプ	TMF40CQ型 TMF40WQ型 他	6	
	G	ノーマルタイプ 自動水止めタイプ	TMG40型 TMG47型	7	
※(注)	—	ノーマルタイプ 自動水止めタイプ	TMF40型 TMF47型	— 対象外 (TH576-2型 をお使いください)	× ⇒取付不可
	G	アーチハンドル タイプ	TMG40CQ1型 TMG40WQ1型 他	— 対象外 (TH576-4型 をお使いください)	



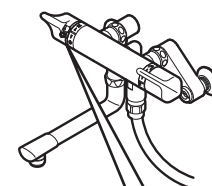
メタルジョイシリーズ
TMJ40C3型 他
⇒4へ



シャワーバー
TMC95型
⇒5へ



アーチハンドルタイプ
TMF40CQ、WQ、DQ型 他
⇒6へ



Gシリーズ
TMF40型
⇒7へ

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

3

取り付け前に

サーモスタットの交換には次の工具が必要です。事前にご準備ください。

モンキーレンチ またはモーターレンチ	マイナスドライバー プラスドライバー
ウォーターポンププライヤー	(その他) ゴム手袋、精密ドライバーなど
六角棒スパナ ※アーチハンドルタイプの場合のみ TMF40CQ型、TMF40WQ型(アーチハンドルタイプ)：対辺=2.5mm	

注意

本体ねじ部が樹脂の場合、締め過ぎると破損のおそれがありますのでご注意ください。

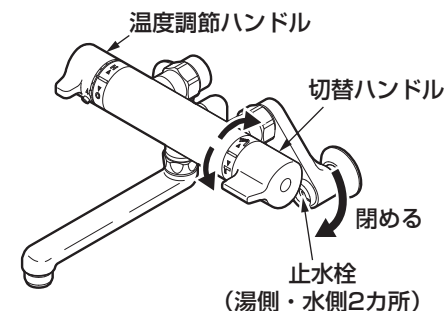


4-1

取替方法 (メタルジョイシリーズ(TMJ40C3型 他)の場合)

1-1 旧ユニットの取り外し

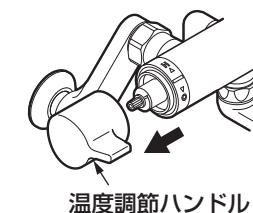
① 止水栓(湯側・水側)または元栓を閉め、切替ハンドルを回して水を抜く。



② 温度調節ハンドルを取り外す。

ワンタッチ式

※ハンドルは「はめ込み式」のため矢印の方向に強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバーを軽くたたいてください。



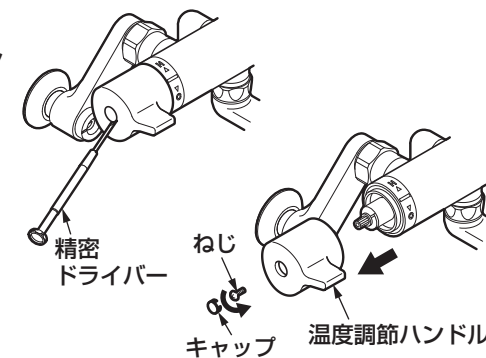
ねじ止め式

キャップ・ねじを外して温度調節ハンドルを抜き取ってください。



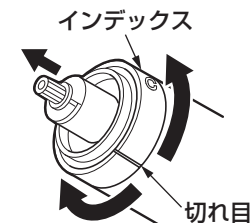
豆知識

キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。



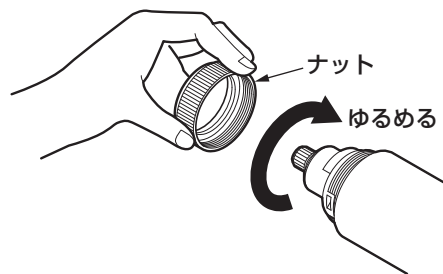
③ インデックスを取り外す。

※インデックスは「はめ込み式」のため、下側の切れ目の部分から指先で広げるようにして取り外してください。
※インデックスを広げ過ぎると割れるおそれがあります。

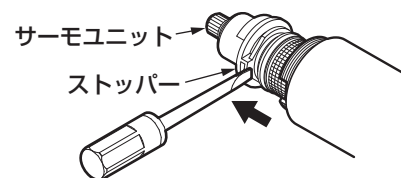


④ナットを取り外す。

※手でゆるまない場合は、プライヤーなどの工具を使ってゆるめてください。



⑤切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、サーモユニットとストッパーを取り外す。

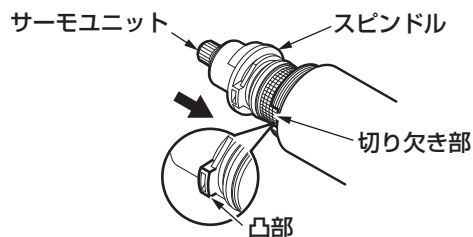


2 新ユニットの取り付け

①サーモユニットの凸部を本体の切り欠き部に合わせて組み込む。

注意

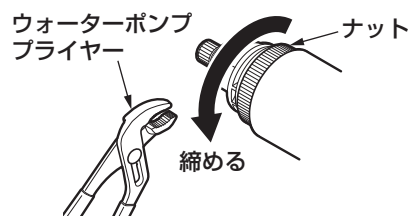
温度調節をしておりますので、スピンドルは動かさないでください。



②ナットを締め付ける。

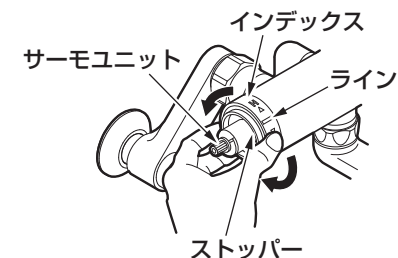
※工具掛かりのあるナットはモーターレンチなどの工具を使って締め付けてください。

※工具掛かりのないナットの場合はプライヤーなどで締め付けてください。



③インデックスを取り付ける。

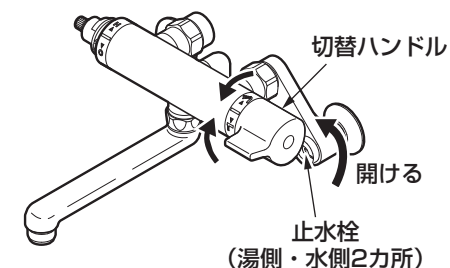
サーモユニットのストッパーにラインを合わせ、取り付けてください。
※軽く回して位置合わせをしてください。インデックスと本体の凹凸が噛み合うと固定されます。



④切替ハンドルを閉め(止水位置まで戻し)、止水栓(湯側・水側)または元栓を開ける。

注意**重要**

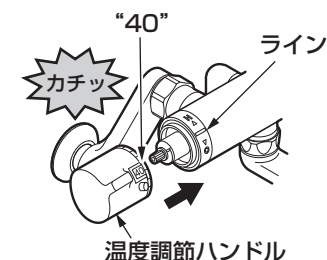
サーモユニット部から水漏れがないか確認してください。



⑤温度調節ハンドルを取り付ける。

ワンタッチ式

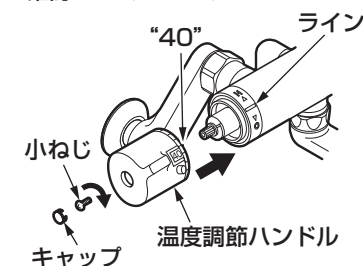
温度調節ハンドルの目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



※ハンドルが簡単に抜けないことを確認してください。

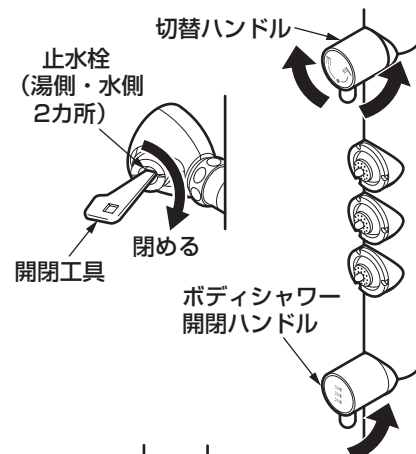
ねじ止め式

温度調節ハンドルの目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

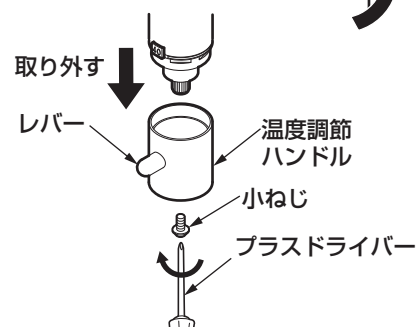


1 旧ユニットの取り外し

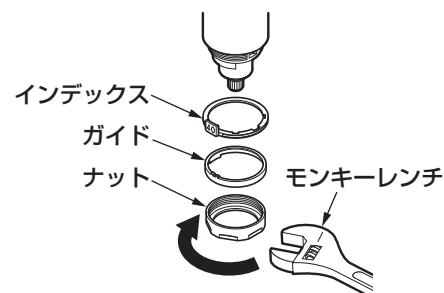
- ① 止水栓(湯側・水側)または元栓を閉め、ハンドルを回して水を抜く。



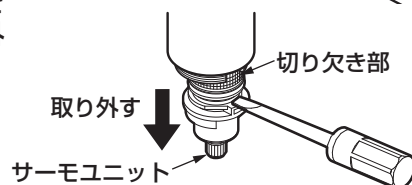
- ② 温度調節ハンドルを取り外す。
ハンドルは右図のようにねじ止めされています。



- ③ ナットをゆるめ、インデックス・ガイドを取り外す。
モンキーレンチなどの工具を使ってゆるめてください。



- ④ 切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、サーモユニットを取り外す。

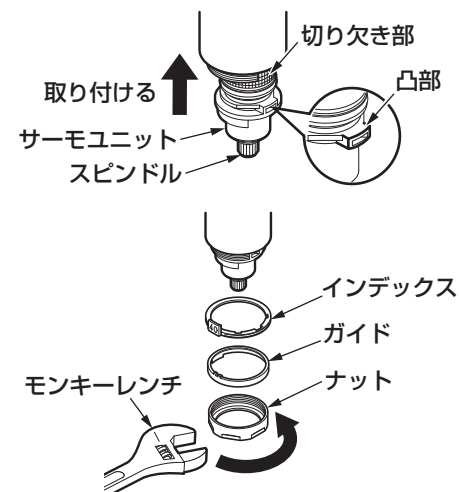


2 新ユニットの取り付け

- ① サーモユニットの凸部を本体の切り欠き部に合わせて組み込む。

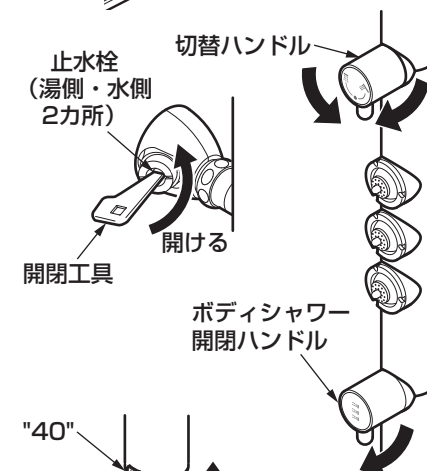
注意
温度調節をしておりますので、スピンドルは動かさないでください。

- ② インデックス・ガイドを取り付け、ナットで締め付ける。
※インデックス・ガイドの向きに注意してください。

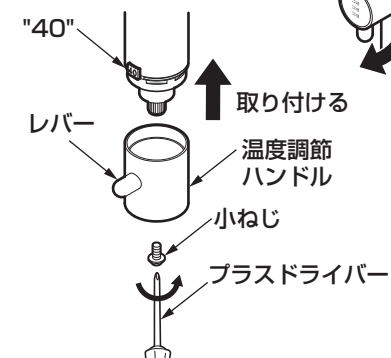


- ③ ハンドルを閉め(止水位置まで戻し)、止水栓(湯側・水側)または元栓を開ける。

重要 注意
サーモユニット部から水漏れがないか確認してください。



- ④ 温度調節ハンドルを取り付ける。
目盛り"40"の文字とレバーを合わせて温度調節ハンドルを取り付け、小ねじで固定してください。

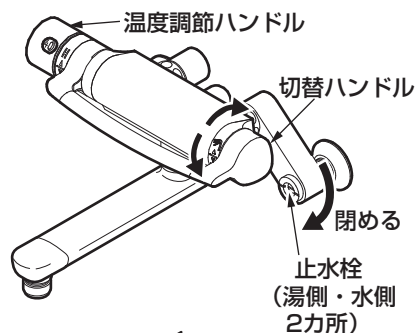


裏面へつづく

取替方法 (アーチハンドルタイプ(TMF40CQ型、TMF40WQ型 他)の場合)

1 旧ユニットの取り外し

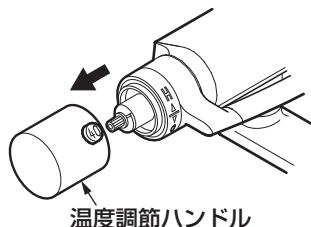
- ① 止水栓(湯側・水側)または元栓を閉め、切替ハンドルを回して水を抜く。



- ② 温度調節ハンドルを取り外す。

ワンタッチ式

※ハンドルは「はめ込み式」のため矢印の方向に強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバーを軽くたたいてください。

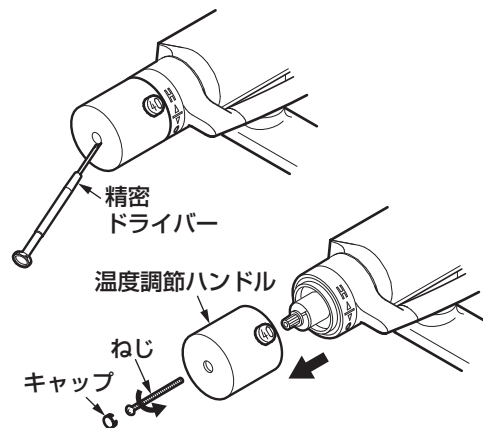


ねじ止め式

キャップ・ねじを外して温度調節ハンドルを抜き取ってください。

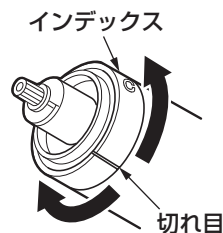
豆知識

キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。

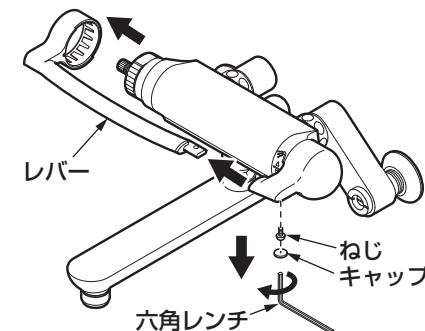
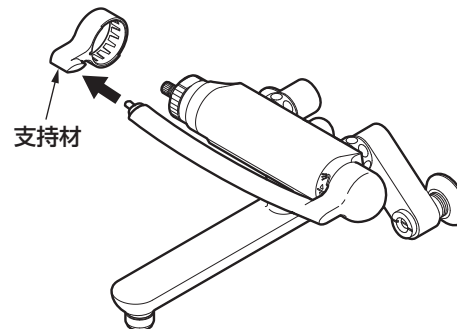


- ③ インデックスを取り外す。

※インデックスは「はめ込み式」のため、下側の切れ目の部分から指先で広げようとして取り外してください。
※インデックスを広げ過ぎると割れるおそれがあります。



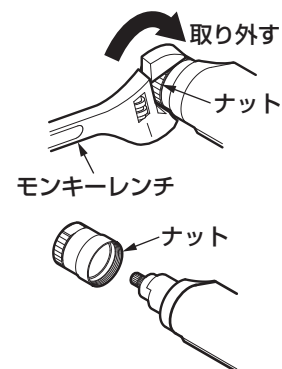
- ④ レバー(または支持材)を取り外す。



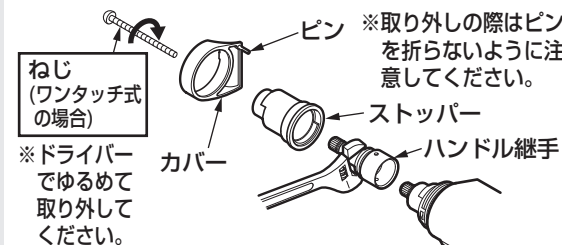
※レバーの場合は、切替ハンドル裏面のキャップ・ねじを取り外し、レバーを引き抜いてください。

- ⑤ ナットを取り外す。

モンキーレンチなどの工具を使って取り外してください。

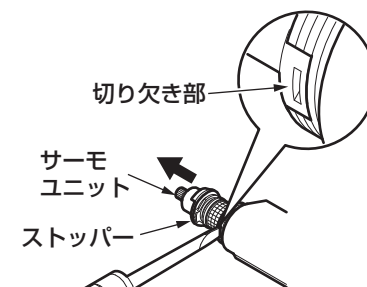


次の部品も取り外してください。(ワンタッチ式の場合)



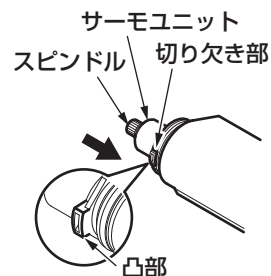
※ドライバーでゆるめて取り外してください。

- ⑥ 切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、サーモユニットとストッパーを取り外す。



2 新ユニットの取り付け

- ①新しいサーモユニットにハンドル継手を取り付けたあと、サーモユニットの凸部を本体切り欠き部に合わせて、本体に組み込む。

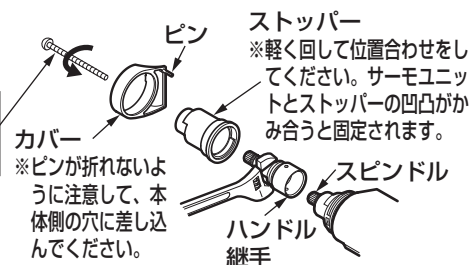


- ②カバー・ストッパーを取り付ける。

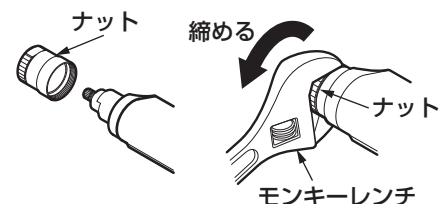
注意

温度調節をしておりますので、スピンドルは動かさないでください。

ねじ
(ワンタッチ式の場合)



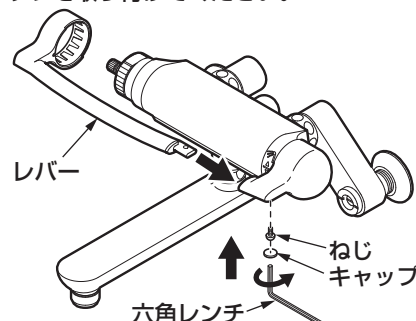
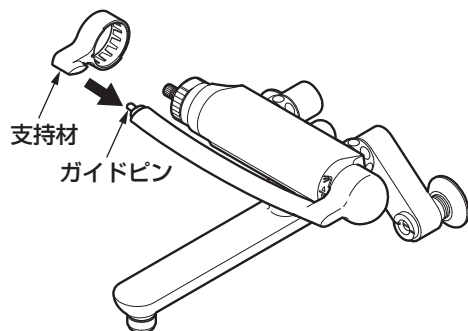
- ③ナットを締め付ける。
モンキーレンチなどの工具を使って締め付けてください。



- ④レバー(または支持材)を取り付ける。

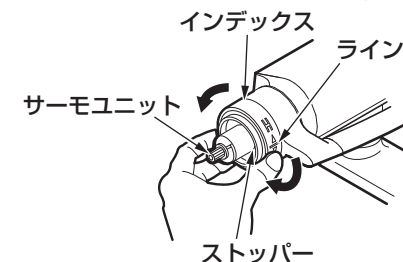
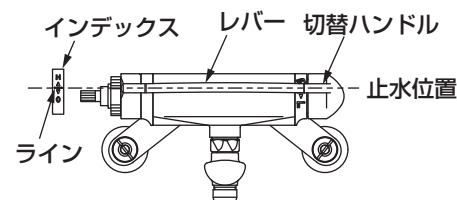
支持材を挿入し、切替ハンドルのガイドピンに取り付けてください。

レバーの場合は、切替ハンドルの差し込み部に合わせて取り付け後、裏面よりねじ・キャップを取り付けてください。



- ⑤インデックスを取り付ける。

切替ハンドルを止水位置に合わせ、レバーの延長上にラインがくるように取り付けてください。

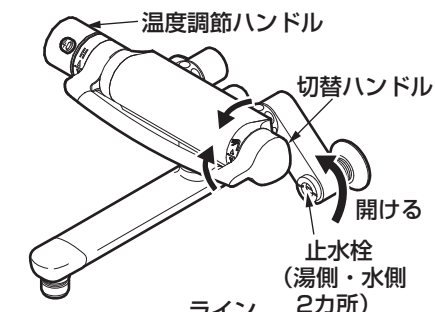


※軽く回して位置合わせをしてください。インデックスと本体の凹凸がかみ合うと固定されます。

- ⑥切替ハンドルを閉め(止水位置まで戻し)、止水栓(湯側・水側)または元栓を開ける。

重要

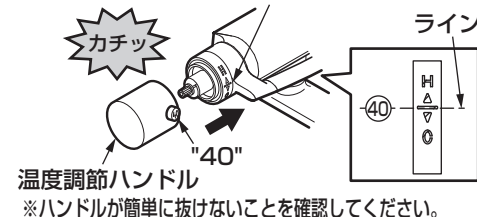
サーモユニット部から水漏れがないか確認してください。



- ⑦温度調節ハンドルを取り付ける。

ワンタッチ式

温度調節ハンドルの目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



※ハンドルが簡単に抜けないことを確認してください。

ねじ止め式

温度調節ハンドルの目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み、ねじで固定してキャップを取り付けてください。

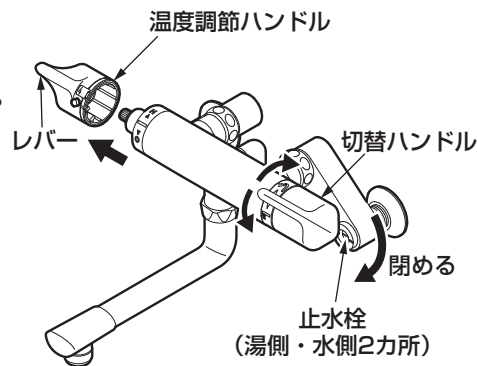


1 旧ユニットの取り外し

① 止水栓(湯側・水側)または元栓を閉め、切替ハンドルを回して水を抜く。

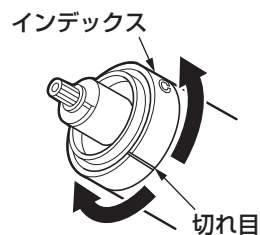
② 温度調節ハンドルを取り外す。

※ハンドルは「はめ込み式」のため、矢印の方向に強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバーを軽くたたいてください。



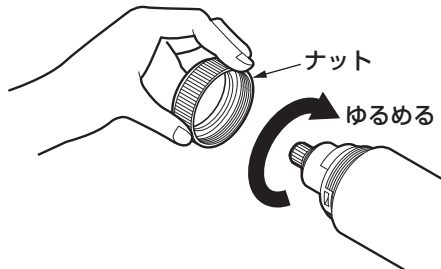
③ インデックスを取り外す。

※インデックスは「はめ込み式」のため、下側の切れ目の部分から指先で広げるようにして取り外してください。
※インデックスを広げ過ぎると割れるおそれがあります。

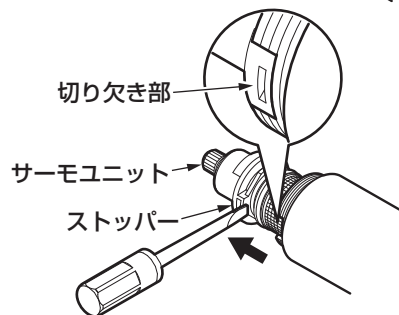


④ ナットを取り外す。

※手でゆるまない場合は、プライヤーなどの工具を使ってゆるめてください。



⑤ 切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、サーモユニットを取り外す。



2 新ユニットの取り付け

① サーモユニットの凸部を本体の切り欠き部に合わせて組み込む。

注意

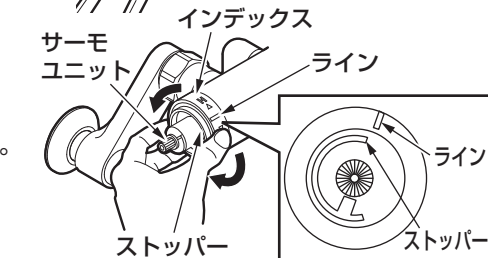
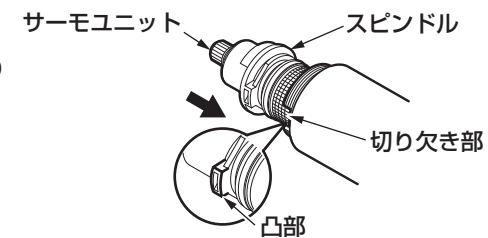
温度調節をしておりますので、スピンドルは動かさないでください。

② ナットを締め付ける。

※工具掛かりのあるナットはモーターレンチなどの工具を使って締め付けてください。
※工具掛かりのないナットの場合はプライヤーなどで締め付けてください。

③ インデックスを取り付ける。

サーモユニットのストッパーにラインを合わせ、取り付けてください。
※軽く回して位置合わせをしてください。インデックスと本体の凹凸がかみ合うと固定されます。



④ ハンドルを閉め(止水位置まで戻し)、止水栓(湯側・水側)または元栓を開ける。

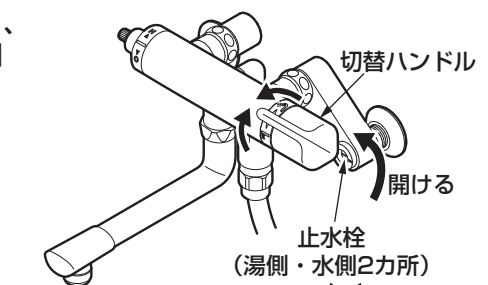
注意

重要

サーモユニット部から水漏れがないか確認してください。

⑤ 温度調節ハンドルを取り付ける。

温度調節ハンドルを "40" の文字とラインが合うように「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



※ハンドルが簡単に抜けないことを確認してください。

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。

吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は吐水温度より10℃以上高く設定してください。

例えば、40℃の湯を出したい場合、給湯機の給湯温度は50℃以上に設定してください。

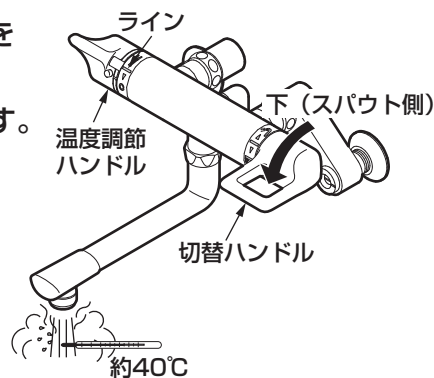
十分な機能を発揮させるため、給湯機の給湯温度は60℃設定をおすすめします。やけど防止のため、60℃を超えない設定をしてください。

2. 温度調節ハンドルの目盛り "40" をラインまたはポイントに合わせる。

3. ハンドル回しスパウトから水を出す。

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温（約40℃）であればそのままご使用いただけます。
吐水温度が適温からずれている場合は、下記を参照し、設定し直してください。



※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

1. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

2. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを外してください。

3. 温度調節ハンドルを取り付ける。

温度調節ハンドルの目盛り"40"をインデックスのラインに合わせて取り付けてください。

4. 固定後に適温（約40℃）の湯が出ているか確認する。